

諸家系譜

池田
池谷
池原

庫文官政太			
三五	三三六四九	和	書門
冊	架函號類		

庫文閣内			
三五 函	三三六四九	和	書
一四 架	二二五		冊架類

共二百廿五内

共八十五



内閣文庫	
番號	和 32649
冊數	225 (11)
函號	156 23

未立有書
多全所廣分

系譜

い
詩

此和原也
或百訓集書○源田考考

系
次切河之禰

礼至德之内先述之也若曾者福亦成
各服者之有以礼礼德也如母及出也
顺之相改也其在福亦成礼亦成也
以所成也初若后礼其外先述之也若也
至德者礼也相述也礼也礼也礼也
之成也礼也礼也礼也礼也礼也

三月

是日
大田河之節

清和源氏

池田

先九祖御初光武行池田本馬元泰以迄御撰
津國佐人池田氏守地利智池田御公御撰
輝二男因信之孫藏之池田御守長壽寺

藤之紋 丸白標

藤之紋 丸白標

家之紋 丸白標

三番子標

長京

後武白

神皇正統記傳載仁皇天皇

明仁天皇御名仁皇天皇御孫仁皇天皇御孫仁皇天皇御孫
仁皇天皇御孫仁皇天皇御孫仁皇天皇御孫仁皇天皇御孫
仁皇天皇御孫仁皇天皇御孫仁皇天皇御孫仁皇天皇御孫

寶及五十年二月書附人自書池田源氏

知人自書池田源氏

御感懷字

詔今及長壽寺藏先皇御撰
御自書仁皇天皇御孫仁皇天皇御孫
仁皇天皇御孫仁皇天皇御孫仁皇天皇御孫
仁皇天皇御孫仁皇天皇御孫仁皇天皇御孫
仁皇天皇御孫仁皇天皇御孫仁皇天皇御孫
仁皇天皇御孫仁皇天皇御孫仁皇天皇御孫
仁皇天皇御孫仁皇天皇御孫仁皇天皇御孫
仁皇天皇御孫仁皇天皇御孫仁皇天皇御孫

仁皇天皇

御撰

右長所乃送向御方光忠加賀獻上之

御守 御守

長清

昭宗長政 昭宗長政 昭宗長政

母 昭宗長政長女

妻 昭宗長政長女

正保二年七月七日生

康應二年七月七日生

正保元年七月七日生

正保二年七月七日生

正保三年七月七日生

正保四年七月七日生

正保五年七月七日生

正保六年七月七日生

延應元年七月七日生

延應二年七月七日生

延應三年七月七日生

延應四年七月七日生

延應五年七月七日生

延應六年七月七日生

延應七年七月七日生

延應八年七月七日生

延應九年七月七日生

延應十年七月七日生

延應十一年七月七日生

延應十二年七月七日生

延應十三年七月七日生

初御所之元氣... 延元... 延元... 延元...

女

延元... 延元... 延元...

女

延元... 延元... 延元...

長元

延元... 延元...

母

延元... 延元...

延元... 延元... 延元...

延元... 延元... 延元...

延元... 延元... 延元...

延元... 延元...

延元... 延元...

延元... 延元...

延元... 延元...

長元

延元... 延元...

延元... 延元...

延元... 延元... 延元...

其母生於子也... 宣永七年... 年人而失其子...

長令

母 之母

女

母 甲利部...

長令

母 宣永

宣永

宣永

宣永... 宣永... 宣永... 宣永...

六日御札

宣永四年九月... 宣永五年... 宣永七年...

女

母 宣永... 宣永...

長令

母 宣永

宣永

宣永

宣永

正德... 宣永...

未青書出

先祖書

い
源

清和源氏
武百法九番〇堀田書
□

八月廿
以田筑後守

寛政十一年

是令
堀田守
末六

越

先祖書

清和源氏

池田

家

九三傳
二世轉堂

源賴光共池田右馬允基以源胤堪源光
多信恒利男池田勝入信輝三男

元祖

池田信守長吉

母 荒尾忠他子吉部廿

天正九年壬申表子男羽柴去以源以信五少陽之

天正十一年壬申表子一誠討新敵又勝入先達二道

天正十二年壬申表子一誠討新敵又勝入先達二道

天正十三年壬申表子一誠討新敵又勝入先達二道

天正十四年壬申表子一誠討新敵又勝入先達二道

天正十五年壬申表子一誠討新敵又勝入先達二道

文輝元辰年於茂若國女名乃胡孫德海紀年以

名馬号 大信名

文輝元年乃大信名

慶長之元年 乃吉吉之共吉物造坊

慶長五年 乃吉吉之共吉物造坊

門年乃吉吉之共吉物造坊

乃吉吉之共吉物造坊

神若 乃吉吉之共吉物造坊

乃吉吉之共吉物造坊

乃吉吉之共吉物造坊

乃吉吉之共吉物造坊

乃吉吉之共吉物造坊

乃吉吉之共吉物造坊

乃吉吉之共吉物造坊

乃吉吉之共吉物造坊

乃吉吉之共吉物造坊

乃吉吉之共吉物造坊

同年九月廿四日吉吉長林人乃吉吉之共吉物造坊

乃吉吉之共吉物造坊

乃吉吉之共吉物造坊

乃吉吉之共吉物造坊

乃吉吉之共吉物造坊

乃吉吉之共吉物造坊

乃吉吉之共吉物造坊

乃吉吉之共吉物造坊

乃吉吉之共吉物造坊

長吉吉 乃吉吉之共吉物造坊

長吉吉 乃吉吉之共吉物造坊

長吉吉 乃吉吉之共吉物造坊

長吉吉 乃吉吉之共吉物造坊

長吉吉 乃吉吉之共吉物造坊

同平二月廿九日西九房石右口成并物与子
 移心相勤行愿在湯川成式
 改修唐平年十月廿九日西九房石右口成并物与子
 同平三月廿九日西九房石右口成并物与子
 同平四月廿九日西九房石右口成并物与子
 同平五月廿九日西九房石右口成并物与子
 同平六月廿九日西九房石右口成并物与子
 同平七月廿九日西九房石右口成并物与子
 同平八月廿九日西九房石右口成并物与子
 同平九月廿九日西九房石右口成并物与子
 同平十月廿九日西九房石右口成并物与子
 同平十一月廿九日西九房石右口成并物与子
 同平十二月廿九日西九房石右口成并物与子

宝下十年年十月廿九日西九房石右口成并物与子
 宝下十一年年十月廿九日西九房石右口成并物与子
 宝下十二年十月廿九日西九房石右口成并物与子
 宝下十三年十月廿九日西九房石右口成并物与子
 宝下十四年十月廿九日西九房石右口成并物与子
 宝下十五年十月廿九日西九房石右口成并物与子
 宝下十六年十月廿九日西九房石右口成并物与子
 宝下十七年十月廿九日西九房石右口成并物与子
 宝下十八年十月廿九日西九房石右口成并物与子
 宝下十九年十月廿九日西九房石右口成并物与子
 宝下二十年十月廿九日西九房石右口成并物与子

九代目九右右
 改修唐平年十月廿九日西九房石右口成并物与子
 改修唐平年十月廿九日西九房石右口成并物与子
 改修唐平年十月廿九日西九房石右口成并物与子
 改修唐平年十月廿九日西九房石右口成并物与子
 改修唐平年十月廿九日西九房石右口成并物与子
 改修唐平年十月廿九日西九房石右口成并物与子
 改修唐平年十月廿九日西九房石右口成并物与子
 改修唐平年十月廿九日西九房石右口成并物与子
 改修唐平年十月廿九日西九房石右口成并物与子
 改修唐平年十月廿九日西九房石右口成并物与子

以年上自去言... 記... 爲... 務... 村... 上... 覺... 昭... 聖... 之... 昭

全... 昭... 聖... 之... 昭

昭... 聖... 之... 昭

昭... 聖... 之... 昭

昭... 聖... 之... 昭

昭... 聖... 之... 昭

昭... 聖... 之... 昭

昭... 聖... 之... 昭

昭... 聖... 之... 昭

昭... 聖... 之... 昭

昭... 聖... 之... 昭

昭... 聖... 之... 昭

昭... 聖... 之... 昭

昭... 聖... 之... 昭

昭... 聖... 之... 昭

昭... 聖... 之... 昭

昭... 聖... 之... 昭

昭... 聖... 之... 昭

昭... 聖... 之... 昭

昭... 聖... 之... 昭

昭... 聖... 之... 昭

昭... 聖... 之... 昭

長妻 女子

長妻 女子

寛政五年丑年六月

長妻

何事

長妻 女子

い
係

系譜

長妻 女子
長妻 女子

長妻 女子
長妻 女子

長妻 女子
長妻 女子

源性

池田

賴光其代瀧口春政之後胤

幕之紋

隅切角之目上羽織

家之紋

隅切角之目上羽織

替紋

每新替

源修長德次男

利重

印石千膳 後北條門

山崎入心切系三音後陽之山宮院者自國攝以
 元文三氏年二月三日文政攝之山曆八載年
 二月三日山宮院者今係專以之聖以是之陽之
 改命之山宮院者今係專以之聖以是之陽之
 其年三月文政攝之山宮院者今係專以之聖以是之陽之
 物死之東御守守守守

法名廣知院慈雲性濟

政倫 三十一
 知名院攝 主馬 後修院 又院後守

其 三十一
 早世

女子 三十一
 坪内源五郎定喜妻

女子 三十一
 町野保太清勝妻

政永 三十一
 母 決日修理政應女

妻 大國攝麻守忠恒女

寶曆十庚辰年四月廿八日火口銀馬代決日修射
 州和二年六月三日拾歲之病死西條保大卷口守
 法名瑞祥院感卷言道應

梶

大次郎 早世

女子

池田筑後守長惠妻

梶

女子

修門正性親兒鴻孫七郎正城伴兒嶋子正孝嫁石原
離別厄女天棚六而卒年正月三日病死

女子

富田子右衛門久讓妻

政能

源三郎

養母

池田源三郎政應母

養父

源外半之師定次母

養母

源外半之師定次母

妻

池田親馬政胤妻

養父

入島信房守忠母

養父以教為養子婚源三郎正性親兒嶋子正孝八月
三日卒於男子之返其後以養子奉祀源三郎八月
七日源三郎正性親兒嶋子正孝八月三日卒於男子之
返其後以養子奉祀源三郎八月七日源三郎正性親兒

高四百石
内百俵
竹藏
備中
本國攝津
生國武藏
居尾浦
藪野
九山
下

寛政上巳事

六十五歳
白源之節
五

い
源

系譜

東正月大八日
身命肝實也

法和傳氏
武百孫八重○堀河是宗守
□

身命
決田將監

揚州神楽部印与部内正万石賜入
利根之シテ号右入
寛文二年四月二十日死

泉紋 上の様

啓紋 (強固寺)
公造宮権

幕紋 上の様

石目字様記号

政

御長代

好生助修存之為修也

寛永八年三月廿日(因)...

相傳手書印...

同手書印...

...

...

賜之
同手書印...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

菅母令

宣文 教代 杉平之馬也武臣等

妻 宣文 宣文 宣文 宣文 宣文

宣文 宣文 宣文 宣文 宣文

宣文 宣文 宣文 宣文 宣文

宣文 宣文 宣文 宣文 宣文

宣文 宣文 宣文 宣文 宣文

宣文 宣文 宣文 宣文 宣文

宣文 宣文 宣文 宣文 宣文

宣文 宣文 宣文 宣文 宣文

宣文 宣文 宣文 宣文 宣文

女

女

宣文 宣文 宣文 宣文 宣文

宣文 宣文 宣文 宣文 宣文

宣文 宣文 宣文 宣文 宣文

宣文 宣文 宣文 宣文 宣文

宣文 宣文 宣文 宣文 宣文

宣文 宣文 宣文 宣文 宣文

宣文 宣文 宣文 宣文 宣文

宣文 宣文 宣文 宣文 宣文

宣文 宣文 宣文 宣文 宣文

宣文 宣文 宣文 宣文 宣文

宣文 宣文 宣文 宣文 宣文

宣文 宣文 宣文 宣文 宣文

宣文 宣文 宣文 宣文 宣文

葬門年 号 全世院 伊安宗家 葬

女 天
享保七年 二月 廿五日 葬 伊安宗家 伊安宗家 葬

政史

辰巳部

實父 妻 伊田宗家 伊安宗家 由 伊安宗家

妻 伊安宗家 伊安宗家 伊安宗家 伊安宗家

享保七年 二月 廿五日 葬 伊安宗家 伊安宗家 葬

享保七年 二月 廿五日 葬 伊安宗家 伊安宗家 葬

享保七年 二月 廿五日 葬 伊安宗家 伊安宗家 葬

享保七年 二月 廿五日 葬 伊安宗家 伊安宗家 葬

享保七年 二月 廿五日 葬 伊安宗家 伊安宗家 葬

享保七年 九月 廿五日 葬 伊安宗家 伊安宗家 葬

葬 伊安宗家 伊安宗家 伊安宗家 伊安宗家

合七部 天

母 伊安宗家 伊安宗家 伊安宗家 伊安宗家

享保七年 八月 廿五日 葬 伊安宗家 伊安宗家 葬

政朗

伊安宗家 伊安宗家 伊安宗家 伊安宗家

妻 伊安宗家 伊安宗家 伊安宗家 伊安宗家

享保七年 十月 廿五日 葬 伊安宗家 伊安宗家 葬

享保七年 十一月 廿五日 葬 伊安宗家 伊安宗家 葬

享保七年 十二月 廿五日 葬 伊安宗家 伊安宗家 葬

寛政十一年甲子八月廿五日
一松平右衛門守輝院坊
神后 右光門下解元之孫之祖次郎傳長
明海の相傳代々相傳今以再傳傳
右へ通沙所の

高三十右 藩内國 辰辰亥永四下

寛政十一年三月 次田將監 興

い
源

法和源氏
百九番 堀田守之丞

系譜

所先所法純頭
次田雅次郎

源性

池田

幕之紋

菊狭肩之上の紋

家之紋

菊狭肩之内の紋

替紋

紙圍守

頭紋

笹籠膽

松平久馬卿武之次郎

政親

政武系譜之儀者木家仁平但馬守喜生書止之
幼名 龜之丞 賴母 孫部 三六

母

家女

妻

無之

貞享四年丁卯年七月五日父相之馬御政武於高
 七之少内物成江年之為御政森六之少内物
 他田之文政親下千石人免因年八月七日經自
 棒太口金馬代左錄高言己年九月廿二日
 御少内物勸之不相急有管承己酉年三月廿八日
 少内物入之役後津守地入享保九月廿九年
 十月九日少内物地音中在(其)死(其)少内物地
 去任管部地(其)若入實延己酉年二月廿五日

之役改地(其)節物氣退者少内物(其)行中内物
 支紀(其)入(其)少内物(其)子(其)死(其)密同(其)己酉年
 二月廿五日(其)少内物(其)死(其)中(其)鄉(其)凡(其)少内物(其)年(其)

其年

法名 法皇院主性日記

政朝

母

家女

一

享保中己酉年六月廿九日(其)死(其)
 中(其)鄉(其)凡(其)少内物(其)年(其)

法名 中徳院日總

女子

早世

母

家女

女子

早世

母

家女

政勝

母

家女

羊藏

妻

政親息成在角子世身言在政後德
於之年月石紙

寛延之庚午年三月七日又路同寺喜治
中多寺子記成同也事年有九日
明和辛丑年三月七日喜治親事小寺
一御流拉持難次而亦督於
右弟又治之妻後利後退母之政右
二月廿七酉歲之病死中柳丸山

治心

靈心院總持日休

女子

母

家女

即此經書山陽後守經中後圖書政務繁劇
其義之嫁不嫁身離別在外古病死

政貞

始輝貞

雅次郎

養母

信子 貞子 喜次郎

寶母

家女

素

高家

京極大膳高厚妹

右書儀松卷又此而半麻少多經此書从
年即仰文配之節和經此以明經等年
言自出於類一通此年右多與文此上音
素乃年四所中後之四年有自之望明
亦暫而係自同九之辰年上日新別
右松卷又事藏從建送一讀之其子成明和
八年卯年表長父亦給少喜信也素少年節
支配成同九之辰年六月十日信自少兒

在永正五年二月廿二日書院紀敘中仍為之記
一書院書院者以書入西鄉流者謂之入
天明之五年九月院所上書天明回
甲辰年正月書院書院年上書書院
之院所上書院年上書西國而院所
院所之間極其安度對馬院上書九年
正月書院院所上書院院所院所
院所之院院人院院院院院院院院院院
院院院院院院院院院院院院院院院院
院院院院院院院院院院院院院院院院

院院院院院院院院院院院院院院院院
院院院院院院院院院院院院院院院院
院院院院院院院院院院院院院院院院
院院院院院院院院院院院院院院院院
院院院院院院院院院院院院院院院院
院院院院院院院院院院院院院院院院
院院院院院院院院院院院院院院院院
院院院院院院院院院院院院院院院院
院院院院院院院院院院院院院院院院
院院院院院院院院院院院院院院院院

五部... 七月... 八月... 九月... 十月... 十一月... 十二月... 同大至七年四月九日

存烟院... 同大至七年四月九日

同大至七年四月九日

存烟院... 同大至七年四月九日

同大至七年四月九日

存烟院... 同大至七年四月九日

同大至七年四月九日

同大至七年四月九日

存烟院... 同大至七年四月九日

同大至七年四月九日

同大至七年四月九日

存烟院... 同大至七年四月九日

同大至七年四月九日

政満

母

家女

三之丞

貞治五年六月廿七日

女子

母

家女

本家同姓

女子

母

家女

女子

母

家女

某

母

家女

早世

某

母

家女

保五郎

某

母

家女

鉄五郎

某

母

家女

鉄五郎早世

右之通沙座作

高千石 播磨 本國攝津 屋敷裏書所

屋敷裏書所
九年御鏡之御鏡矣
七年石相紙

寛政十一己未年三月

次田雅次郎 五

い 源

信和氏
貳百拾七番

系譜

系譜
高千石
屋敷裏書所

次田 百
百

仙臺

正徳三年

正徳三年十一月廿六日死
葬芝野徳田寺

信綱

正徳三年

竹信

正徳三年

長流

正徳三年

宗英

正徳三年

女

廣業

正徳三年

廣明

正徳三年

玄英

正徳三年

賴善

正徳三年

成興

正徳三年

長享二年七月廿九日死

女

長享二年七月廿九日死

賴水

長享二年

正徳三年

正徳三年七月廿九日死

慶秀 上総以獨

以列其海有新是海戸多作下改
永享五年七月十日死年八

宗頼

治承五年

宗宗

治承五年二月十日死年

光宗

頼吉

治承五年 少海治承

女

天仁五年二月十日死

頼慶

治承五年 上野女 治承五年

女

治承五年

女 人成頼造妻

光頼

治承五年 母治承五年

母治承五年 治承五年

多頼

治承五年

融慶

治承五年

女

頼就

治承五年 母治承五年

治承五年 治承五年 治承五年

治承五年 治承五年 治承五年

信原國攝事部内職
之付改公之方在日海
事先以之況之令所
者如

元和三年九月十日
此印

福信子別改易之許
外之修達 土守有
以之改易 土守有
長後所改易之許

寛永八年十月十日

新 浅原海福与号前
改改

改改

之長村輝改易之
改改

女 继内通元光之妻

女 酒本及馬物富之妻

女 輝改易母羽西云元光之妻

女 村丹長門守国信之妻

養女 之長村輝改易之妻
甲五史之右所妻

信入信輝如和尾
之長子

信改 信吉 信吉

邦照

又八郎

女 元川去後子正海女

寛文三年二月廿七日庚申

寛文十四年三月廿九日

女 清原酒肆子号春草院

官教

女 口口

妻

江年御後子恒元女

寛文十一年八月廿九日

同年三月廿七日

新行江年御後子恒元女

元禄八年三月廿九日

女 号春草院

女

母 号春草院

妻

全所

女 江年御後子恒元女

女

女 口口

由利

妻

女

妻

女

池田

妻

江年御後子恒元女

天和二年

明治四年八月廿一日
明治七年八月廿一日
明治九年八月廿一日
明治十年八月廿一日

賴母

生斗
母 子 女

明治七年五月廿一日
明治九年八月廿一日
明治十年八月廿一日

某

母 子 女

明治七年五月廿一日

女

養母

生斗
子 女

明治九年八月廿一日

養母

生斗
子 女

賴完

百知

養母

生斗
子 女

養父

生斗
子 女

養母

生斗
子 女

明治八年九月廿一日

甲辰八月廿七日官給... 長子
 長水九年八月廿七日... 長子
 天明元年八月廿七日... 長子
 天明七年八月廿七日... 長子
 天明七年八月廿七日... 長子
 天明七年八月廿七日... 長子
 天明七年八月廿七日... 長子

女 長子 長子 長子 長子 長子 長子 長子 長子 長子 長子

女 長子 長子 長子 長子 長子 長子 長子 長子 長子 長子

相印 長子 長子 長子 長子 長子 長子 長子 長子 長子 長子

長子 長子 長子 長子 長子 長子 長子 長子 長子 長子

天明八年八月廿七日... 長子
 天明九年八月廿七日... 長子
 天明十年八月廿七日... 長子

右ノ通シ...

高三千石 播磨國 長門郡

長門郡...

寛政十一年... 十月
 決田百石

東之月乃
巨浪の如きなり

系譜

い 友西八

友西八
即百八番〇城の事なり

東之月乃
巨浪の如きなり
火田名十郎

藤原氏

池田 元亨の家

大職冠源氏之流胤之孫河守元朝初任
討死城郭主統之節事宗守之文以宗守家
彦治郎元亨之苗字池田と為す

幕之紋

(用波梅許
丸用上梅標)

家之紋

用波梅許

替之紋

上梅標

大福寺秀元三行

政長

用書次

号池田

母 加賀國佐人 池田平兵衛 石加子母

事 不紙

慶長七年八月廿三日 所屬江漢到武藏郡吉野
今由山城在任江國之官所傳之命法中主成以
神名所傳而改長相治
慶長十七年十月廿三日 所屬吉野到武
午所傳之命法中主成以
所刊物之字

更傳武藏郡少府
村長吉野同右者野村之内
昔由山城在任江國之内
百所傳之命法中主成以
所刊物之字
慶長十七年八月廿三日 所屬吉野
所刊物之字

大坂吉野所傳之命法
所屬吉野
所刊物之字

武藏國吉野郡
下之野村之内
昔由山城在任江國之内
百所傳之命法中主成以
所刊物之字
慶長十七年八月廿三日 所屬吉野
所刊物之字

所屬吉野
所刊物之字
慶長十七年八月廿三日 所屬吉野
所刊物之字

在舟後岸白鳥寺号興國院國宗水光
右邊寺の境内に所駐河島徳盛町河島徳盛

長浪 吉良

寛永九年三月廿七日長浪三言右有御打首指石
少御前内言 方知月日願七言右
百廿七言
年月日里言紙

人敵入山出遊理

寛永十年四月廿五日加波右九百石

正徳二年三月廿七日
年同言 号珠林常光

長得

母 性不紙
寛永九年三月廿七日
長弘 云良
控千所長艶吉良子
瑞島相傳之信

豊長

寛永九年三月廿七日
寛永十年三月廿七日
寛永九年三月廿七日

範長

正長

初長七言信中書子言
相傳之信

長艶

素直入門書姓也云保也
長艶 吉良 谷内殿御衛之女

明丁酉年正月廿六日寅時生
氣石我院之人
實父之丙午九月廿九日
葬海東白雲寺 号靈寔宗光

女 駿河沖代實 井上友房(西福)妻

女 母是合 宮内省御衛之女

女 竹中重地 加賀八幡宮(妻)

女 大所帯 同家跡(是) 加賀八幡宮(妻)

長孫

長孫 長久 田島政長(曾) 日向吉瑞長孫官

妻 竹中重地 大藏信濃守相道女

實父之丙午年正月廿九日
逢吉巳午寅時入竹中重地(是) 加賀八幡宮(妻)
天保三年九月廿九日死

葬門前 号英宗宗光傑

正長

正長 竹中重地 加賀八幡宮(妻)

實父 實父(是) 日向中(是) 世也(二男)

妻 加賀八幡宮(妻) 加賀八幡宮(妻) 加賀八幡宮(妻)
逢吉巳午寅時

田中佐右衛門の
あふのふたし

同年中二月十日九廿九日

女 長子保十八日午 弓丹通院善山良門

女 池田市之忠長信女

女 竹書院善 忠長信女

女 竹書院 忠長信女

長直

女 池田市之忠長信女

女 保十八日午 弓丹通院善山良門

長高

女 竹書院 忠長信女

長

宝永七年九月十日
享保十八日午 弓丹通院善山良門
同年中二月十日九廿九日
女 保十八日午 弓丹通院善山良門
女 池田市之忠長信女
女 竹書院善 忠長信女
女 竹書院 忠長信女

長興 小毛之忠長信女

享保十八日午 弓丹通院善山良門
女 保十八日午 弓丹通院善山良門
女 池田市之忠長信女
女 竹書院善 忠長信女
女 竹書院 忠長信女
長直 一階 平良 忠長信女

在宣和五年二月朔日... 宣和五年二月朔日... 宣和五年二月朔日...

女子 宣和五年二月朔日... 宣和五年二月朔日...

母 上同

有德云... 宣和五年二月朔日... 宣和五年二月朔日...

宣和五年二月朔日... 宣和五年二月朔日... 宣和五年二月朔日...

女 宣和五年二月朔日... 宣和五年二月朔日...

宣和五年二月朔日... 宣和五年二月朔日... 宣和五年二月朔日...

利根... 宣和五年二月朔日... 宣和五年二月朔日...

長義 宣和五年二月朔日... 宣和五年二月朔日...

長置

母 宣和五年二月朔日... 宣和五年二月朔日...

宣和五年二月朔日... 宣和五年二月朔日... 宣和五年二月朔日...

母水九子年三月九日九日
在井口寺号 信藏院佛堂全焚

石屋道成

渡川所氏人所立有十之陽所成

明和五年正月十日 山本重和所成所成

初陽村名以起同日 山本重和所成

母水四子年正月十日 山本重和所成

若水五子年正月十日 山本重和所成

母水五子年正月十日 山本重和所成

母水五子年正月十日 山本重和所成

母水五子年正月十日 山本重和所成

若水五子年正月十日 山本重和所成

母水五子年正月十日 山本重和所成

母水五子年正月十日 山本重和所成

母水五子年正月十日 山本重和所成

養母 同人 猪飼氏正義妻

父 池田長五女

實延 乙子年

有海公所成之正

實延 乙子年

實延 乙子年

長守 乙子年 早也

政宣 乙子年

養母 同人 池田氏正義妻

父 池田氏正義妻

實延 乙子年

實延 乙子年

實延 乙子年

寛政九年八月廿七日

養女 池田右門政直妻

寛文御 池田右門長帝

吉十郎 幼名好世郎

長泰

養女 池田右門長帝妻

五女 寛政御 池田右門長帝

養女 池田右門長帝

養女 池田右門長帝

天明八年甲申九月廿七日

寛政九年八月廿七日

寛政九年八月廿七日

先祖圖書以改長原載

權現保町書列代相傳今以

二月廿一日書在書列

右所到物書列代相傳今以

寛政九年八月廿七日

寛政九年八月廿七日

寛政九年八月廿七日

寛政九年八月廿七日

寛政九年八月廿七日

女 池田右門長帝妻

女 池田右門長帝妻

女 女
母 母
子 子

有通江

高九百石
上
國
五

寛政十一年

江
五

い
五
五

諸
八
〇
五

系譜

五
五
五

五
五
五

如 子何女

素 相列之傳 仁修控兵門首次女

慶長九年三月七日

切知 山所取多相取七歳所之方流経りて

寛永八年三月十日 延平坊 子と名高相取

子と名取

人歎之於 亦知此言 乃有幕下りてと事 上と云

以何人女傳之 子名と事 幸同傳りてと事 高次

上と名取

照 是より左傳りてと事 行りてと事

系 此傳りて 林市中之と事 段所し行りてと事 上と名取

親 是より左傳りてと事 段所し行りてと事 上と名取

陽 中 東傳りて 後傳りて 行りてと事 上と名取

右 右の伝言 左の伝言 相取 上と名取

寛永十八年八月廿日 石見州 湯島屋

慶長二年

弟 緒云 日光山 行りてと事 田原 初行 旅行 仰

首 高行 仁 高行 左傳りてと事 段所し行りてと事 上と名取

左 左の伝言 右の伝言 相取 上と名取

信 信 行りてと事 段所し行りてと事 上と名取

門 門 市 伝言 右傳りてと事 段所し行りてと事 上と名取

門 門 威 伝言 右傳りてと事 段所し行りてと事 上と名取

在 在 心 伝言 右傳りてと事 段所し行りてと事 上と名取

在 在 心 伝言 右傳りてと事 段所し行りてと事 上と名取

加 加 右 傳りてと事 段所し行りてと事 上と名取

天 天 知 伝言 右傳りてと事 段所し行りてと事 上と名取

自 自 知 伝言 右傳りてと事 段所し行りてと事 上と名取

其 其 傳りてと事 段所し行りてと事 上と名取

自 嗣

其 其 傳りてと事 段所し行りてと事 上と名取

養母 相引之瀧岡 松修後孫 玄次母

實父 子 乙卯月吉辰子卯女二男

妻 亥 乙卯月吉辰子卯女

正保元年甲申年九月

正保元年九月廿八日入大行宮中斷國傳之

正保九年九月廿七日入大行宮中斷國傳之

正保十一年三月廿九日入大行宮中斷國傳之

葬 瑞徳禰福院 号 玄次家殿

女 亥子 乙卯月吉辰子卯女

自南

乙卯月吉辰子卯女

母 行吉 乙卯月吉辰子卯女

妻 乙卯月吉辰子卯女

元保元年甲申年九月

元保元年九月廿八日入大行宮中斷國傳之

元保九年九月廿七日入大行宮中斷國傳之

元保十一年三月廿九日入大行宮中斷國傳之

自剛

乙卯月吉辰子卯女

母 乙卯月吉辰子卯女

妻 乙卯月吉辰子卯女

正保元年甲申年九月廿八日入大行宮中斷國傳之

正保九年九月廿七日入大行宮中斷國傳之

明治七年八月二十日
天明八年三月五日
天明九年甲午三月九日

明治七年八月二十日
天明八年三月五日
天明九年甲午三月九日

自始

女

官内令殿ら親録は元月分後
長中三年三月十日

自始

女

天明七年三月八日
天明七年三月八日

女

天明七年三月八日
天明七年三月八日

自始

女

天明七年三月八日

天明七年三月八日
天明七年三月八日
天明七年三月八日

寛政八年春三月廿五日入京

自他 此日乙卯

寛政九年十一月廿七日

自他 乙卯

寛政七年十月廿七日

自他 乙卯

寛政七年十月廿七日

女 此日乙卯

自他 乙卯

自他 乙卯

自他 乙卯

寛政八年

高之百歳 此日乙卯

寛政十一年 此日乙卯

末三有
紙紙
紙紙
紙紙

系譜

い
你

口口口口
口口口口
口口口口
口口口口

口口口口
口口口口
口口口口
口口口口

口口口口

清和源氏

清和天皇才力自皇子自純親王四之流胤皇孫
御行幸於亮去其極位官位也田史傳云輕皇嫡女
經年也田史傳云田史傳云

帝之紋

獅子牡丹花 青附音之羽

此田史傳云

備前

山泉

利安之松庵

如 女 妻 依 陽 女

天文十一年生也

始年附以別位之自京極高仁守中少部正位
永保二年信長去其位別位入於皇所
依此田史傳云也

多子匠東丹之匠乃守改行卷
慶長十七年十月二十九日

寛政

母 貞女

天明十一年甲午の別冊に記す

寛永五年 山内見

寛永五年 山内見

慶長五年甲午の別冊に記す

寛永五年甲午の別冊に記す

山内見 及新及後

市存

母 貞女

寛永八年甲午の別冊に記す
慶長五年甲午の別冊に記す
山内見
寛永五年甲午の別冊に記す
山内見

寛政

母 貞女

山内見

寛政

寛政

寛政

寛政

寛政

寛政

寛政

寛政

寛政

寛政

寛政

寛政

左海兵衛年二月廿七日自京都入府著此所記

安永四年二月廿七日自京都入府著此所記

安永五年二月廿七日自京都入府著此所記

安永六年二月廿七日自京都入府著此所記

安永七年二月廿七日自京都入府著此所記

安永八年二月廿七日自京都入府著此所記

正春 三月廿七日

安永七年二月廿七日自京都入府著此所記

安永八年二月廿七日自京都入府著此所記

安永九年二月廿七日自京都入府著此所記

安永十年二月廿七日自京都入府著此所記

安永十一年二月廿七日自京都入府著此所記

安永十二年二月廿七日自京都入府著此所記

養子

乙九月廿七日 養子 乙九月廿七日 養子

高島

高島 乙九月廿七日 養子

高島 乙九月廿七日 養子

高島 乙九月廿七日 養子

室永七 三年 丹下 卯辰

宣和元年九月廿七日 丹下 卯辰 入 丹下 卯辰 宣和元年
宣和元年九月廿七日 丹下 卯辰 入 丹下 卯辰 宣和元年
宣和元年九月廿七日 丹下 卯辰 入 丹下 卯辰 宣和元年

雄離

宣和元年九月廿七日 丹下 卯辰 入 丹下 卯辰 宣和元年
宣和元年九月廿七日 丹下 卯辰 入 丹下 卯辰 宣和元年
宣和元年九月廿七日 丹下 卯辰 入 丹下 卯辰 宣和元年

西膳

宣和元年九月廿七日 丹下 卯辰 入 丹下 卯辰 宣和元年
宣和元年九月廿七日 丹下 卯辰 入 丹下 卯辰 宣和元年
宣和元年九月廿七日 丹下 卯辰 入 丹下 卯辰 宣和元年

高存

宣和元年九月廿七日 丹下 卯辰 入 丹下 卯辰 宣和元年
宣和元年九月廿七日 丹下 卯辰 入 丹下 卯辰 宣和元年
宣和元年九月廿七日 丹下 卯辰 入 丹下 卯辰 宣和元年

宣和元年九月廿七日 丹下 卯辰 入 丹下 卯辰 宣和元年
宣和元年九月廿七日 丹下 卯辰 入 丹下 卯辰 宣和元年
宣和元年九月廿七日 丹下 卯辰 入 丹下 卯辰 宣和元年

女

宣和元年九月廿七日 丹下 卯辰 入 丹下 卯辰 宣和元年
宣和元年九月廿七日 丹下 卯辰 入 丹下 卯辰 宣和元年
宣和元年九月廿七日 丹下 卯辰 入 丹下 卯辰 宣和元年

高

祐師

養女 江守御女

実父 海島御使の松平定房の御孫

実父 定房

天明四年春三月廿五日

定房の御孫定房の御孫定房の御孫

本名 遊山御使

高 音 儀

江守御女

寛政十二年三月

洋所御使の御孫

池田記 五

申口月十日

此節迄の御事

系譜

江守御女
外三白斎堂の御孫

い

海

天和五年四月

池田記九節

清和源氏

次四

清和天皇中六皇子因純親王後胤正位下
移傳与賴光去代賴清源氏治史傳子賴志幼与
苗氏孫次曰土代次曰信守守重成

幕之敘 柳子壯丹花

書所多之相九之章

家之敘

書之相九
之相九

語之敘

書之相九

史曰... 重富

重富

卷四

魯母

書

天保... 教有...

教有... 天保... 教有...

史曰... 天保...

天保... 史曰... 天保... 史曰...

史曰新...

承子隆

長行 卯石 承子隆

母

遠山御孫女

妻

法野寺定卯子隆 卯石 承子隆 卯石 承子隆

常憲院様所代池田新嘉三郎元禄古巳年

去月五日極田所殿に新規所御定比 卯石

卯石 承子隆 卯石 承子隆

文昭院様而凡の以爲入山長一同

卯石 承子隆 卯石 承子隆 卯石 承子隆 卯石 承子隆

卯石 承子隆 卯石 承子隆 卯石 承子隆 卯石 承子隆

卯石 承子隆 卯石 承子隆 卯石 承子隆 卯石 承子隆

卯石 承子隆 卯石 承子隆 卯石 承子隆 卯石 承子隆

卯石 承子隆 卯石 承子隆 卯石 承子隆 卯石 承子隆

卯石 承子隆 卯石 承子隆 卯石 承子隆 卯石 承子隆

卯石 承子隆 卯石 承子隆 卯石 承子隆 卯石 承子隆

卯石 承子隆 卯石 承子隆 卯石 承子隆 卯石 承子隆

卯石 承子隆 卯石 承子隆 卯石 承子隆 卯石 承子隆

卯石 承子隆 卯石 承子隆 卯石 承子隆 卯石 承子隆

寶曆元年十一月廿七日八歲夭
南泉寺存法名法壽院雲山白英
一 幼漢中修所川南中 師願如及 孝勤院
今書局

女子

女

昭宗性純仁年之有也 昭宗家祿離別
其後之降之昭宗充余代十有年 伴常業
久正之夕 昭宗政一也 昭宗所

李孝庸

女同上

妻 後園元宗所胤直女

宣德二年十一月廿七日夭別離帶出昭宗定

己未年

信信院棟分九口家昭宗年右忠信得也文所

酒平秋中守

昭宗

昭宗入宮曆之昭宗七月廿七日昭宗昭宗

七月廿七日昭宗年青其昭宗昭宗昭宗昭宗

右忠信昭宗昭宗昭宗昭宗昭宗昭宗昭宗昭宗

昭宗昭宗昭宗昭宗昭宗昭宗昭宗昭宗昭宗

昭宗昭宗昭宗昭宗昭宗昭宗昭宗昭宗昭宗

昭宗昭宗昭宗昭宗昭宗昭宗昭宗昭宗昭宗

女子 早世

母 同上

享保十一年二月廿七日病歿列傳後改葬
櫻院 葬法名自性

木子スエ 改信量 初之忠

母 同上

寶曆十一年七月廿五日病歿列傳後改葬
之次所信子孫子成

女子 山田勘次郎政位妻

母 同上

乙子スエ 初名子仲 全吾 玄直

母 同上

寶曆十一年五月廿五日病歿列傳後改葬
平田道有子孫 孫子成

女子 山田勘次郎政位妻 只今
只今 山田勘次郎政位妻

母 同上

始一摘成此世細細之喜時日嫁嫁離別
且後所書及者以并其氣之氣由其所始始
一喜成

女子壽

雕庸 幼名万藏 喜之也

女 同上

明治元中辛八月十二日元山書院書院初新
人濟育也 確能長子成

女子

元山書院 後名長官所胤直女

明治九年辛酉九月九日初生於元山書院
或列於南泉寺

男子

元山書院

女

後名長官所胤直女

明治十年辛酉二月二十日初生於元山書院
後名長官所胤直女

但季

幼名次代之師 子山 仙九郎

養女

元山書院

後名長官所胤直女

宗女白鳳傳一國古志年二月一日
歸唐 山日見之相者錄

一國古志年八月五日山日見之相者錄
山日見之相者錄

一國古志年八月九日山日見之相者錄
山日見之相者錄

一國古志年八月廿六日山日見之相者錄
山日見之相者錄

女子
母
山日見之相者錄

實政之皇年八月廿六日山日見之相者錄
山日見之相者錄

養女
中人山日見之相者錄
山日見之相者錄

養母
山日見之相者錄

實父
山日見之相者錄
實母
山日見之相者錄

男子

永之丞

甲世

母

養父

養母

天明六年辛卯八月朔日紅法名寺海院兼山
自生黃列 公中 易泉 冬 葬

女子

年未立

母

養父 養母

養子高

辨之丞

母

同上

男子

永之丞

行年廿二 養父 同 養母 同

母

丸山権平印左衛門

女子

甲世

母 同上

寛政九年十月廿七日病死 拾遺 拾遺 拾遺
月先院 葬法名 照海院 知達 乙 葬

右之通 以所傳

高百五拾俵

中國進口
生國成藏

洋烟庄浦麻布等品

寛政十一年十一月

次田次郎

字五藏

い
ひ
の
係
石
玉
係
新

系譜

係
石
玉
係
新
石
玉
係
新

高百五拾俵
生國成藏

洋烟庄浦麻布等品

次田次郎

沈田既後字西乳六代

政利

母 小娘

妻 小娘

慶長十八年正月生

文治八甲年正月八

葬御前御近所光寺 号清田草白信士

政勝

政勝

母 小娘

妻 有善名子堅玉 号市丸門女

慶長九年正月生 号市丸

天保九年正月生 号市丸

文治九年正月生 号市丸

葬御前御近所光寺 号市丸

政利 政勝

政利

母 有善名子堅玉 号市丸

妻 有善名子堅玉 号市丸

慶長九年正月生 号市丸

天保九年正月生 号市丸

文治九年正月生 号市丸

葬御前御近所光寺 号市丸

政利 政勝

慶長九年正月生 号市丸

天保九年正月生 号市丸

文治九年正月生 号市丸

元文二年二月十日... 宣统元年... 明治元年... 女子

女子 山田...

政集

如 福...

宣统元年... 明治元年... 女子...

同治七年八月...

宣统元年... 明治元年...

同治八年... 宣统元年...

女子 山田...

女子 山田...

女子 山田...

女子 山田...

如右

在室中五年二月十日所見六具口百
室中七年二月十日所見口口口口

相部中口口口口口口口口口口口口口口
口口口口口口口口口口口口口口口口口口

女 大田吉之布之口口 長尾左之口口口口

政武

女 口口口口

妻 口口口口 長尾左之口口口口

享保九年三月十日所見口口口口口口口口
明和九年三月十日所見口口口口口口口口
安永八年三月十日所見口口口口口口口口

同平上之口口口口口口口口口口口口口口
安永九年三月十日所見口口口口口口口口
天明九年三月十日所見口口口口口口口口

元愷 口口口口 口口口口

服部七之口口口口口口口口口口口口口口

守部 口口口口 口口口口

女 口口口口 口口口口

女 口口口口

女 口口口口 口口口口口口口口口口

女 口口口口 口口口口口口口口口口

女 口口口口

享保十八年正月廿九日
此書は賜り
池田千之助
山形県
石巻市

高槻宗人様
此圖は千之助の御書に
寛政十三年

寛政十三年
池田千之助



系譜

清和源氏
四百拾貳番堀田豊前守

享保十八年正月廿九日
森川織部公世

小普請
森川織部公世
池田千之助

清和源氏

池田

先祖池田頼母長照越中国之位
年月未知病死

幕之紋

九之小十文字

家之紋

上々羽蝶

替紋

五三桐

池田賴母長照總領

清左門

吉長

母

御目不知名

元和元年加賀國三戶出生

大猷院様御代御從母長照御代御入盛長

大草主悟心御從母頭依病氣入小

善請大久保玄蕃御從

元禄三年年十七日死歳七十一日葬淺草

法泉寺号久恩院出家家

長保

七左門

母

家女

寛文四年辰年江戶出生延宝八年十二月晦日死七歳葬地同上号回心院道隆

吉祐

清左門

養母

家女

實父

池田又左衛門孫次男

御頭不知

夫母

節目不知

半人酒井善左衛門能子氏

妻

古川武兵衛能子氏

寛文九年正月江戸出生

吉永兵衛男子續之無之乃吉永氏(吉祐後)

天和二年正月辰子願

元禄四年七月日名跡跡目入書請入條

玄蕃頭能

同五甲年^{不知}支配却定

同西乙年同上^{不知}改所用

同十五年正月見

常憲云

宝永七年六月日御林奉行

享保十九年二月四日死歳六十六

葬地同上号圓隆院日到

邸宅本所二丁目二百坪余少妻法大島氏

組蜂屋治左衛門少前流流氏二百坪余器心徳

三己年五月晦日許之

吉成

十三郎

母

半人酒井善左衛門能子氏

古川武兵衛能子氏

心徳五少年^{不知}江戸出生

享保十四年七月十三日死歳十五

葬地同上号慈静院宗智

長秀

甚左門 初名新三郎 又強左門

養母

古川武無清盛女

実父

牛田甚左門頼氏次男

実母

思野若左支 石下女

妻

平田与左成元女

元禄十二年二月四日生

享保十二年九月六日難毎續長秀養子

同十九年五月三日跡目入書信長子組

元文二年壬午七月七日申入組并及任組入格

牛田宗女組

宝曆二年六月十八日先養子池田留之助長春

山実父少次瀬兵衛成左衛門同壬午替川免

如心斎初物

宝曆八年四月十一日入書信長同左衛門及配

其後高刀式部及配

明和六年五月十九日歳七十薨地同上号我

從養日永

女子

母

早世

古川武無清盛女

女子

母

同右

早世

長春

養母

實父

實母

妻

高師

長春甲申年三月廿五日
年回上戸門成元女

小瀬瀬多活三男

弟目名知

長女池田高長門長春女

女子

母

池田鏡之助長女妻

池田高長門長春女

享保十七子年朔日江戸出生

延享四年年正月廿日續生乃大知養子

宝曆二年年正月廿七日自部入西九斗人

竹中彦八郎細川切赤百老孫人孫孫幼依

病少養子紅折之山平法門一組一長知名

辞 山平法門法巧方在之惣孫孫家系

及至家新地故川有者世之長春子乃主殿

有執也府九年上戸養父叙之通以今明和六

丑年正月十九日死歳二十八葬地同上号一山平

女子

養子

池田富之助長春妻

母

12年甲申年三月

平田庄屋成元女

成元常子也其母成元方也其母
成元常子也其母成元方也其母

女子

少人(理)同中位(理)

石月信房義比事

母 右、同

光保

信之師

母 同右

定曆字子年三月廿五日甲申卯時生也其母
幼其母光道其母

果

古の五(可)

甲世

母 右、同

政元

信之師

12年甲申年三月

養母

少人(理)同中位(理)

平田庄屋成元女

實父

大所(理)同中位(理)

山本鏡之進政滿常

室母

養父

後藤清三郎辰雄女

妻

池田庄屋成元女

延享二年二月九日江戸出生

明和六年十二月廿五日経母より生知申美長子

同和六年二月廿五日経母より生知申美長子

同九年正月十日経母より生知申美長子

人吉山城より

安永三年五月四日病氣より生知申美長子

外記支配

同五年二月廿七日経母より生知申美長子

大田山城より

同七年九月廿日経母より生知申美長子

生知申美長子

天明六年二月廿日経母より生知申美長子

天明六年二月廿日経母より生知申美長子

天明六年二月廿日経母より生知申美長子

天明六年二月廿日経母より生知申美長子

天明八年二月廿日経母より生知申美長子

天明六年二月廿日経母より生知申美長子

政利

母

千代

池田喜左衛門長考孫女

室池田喜左衛門長考孫女

明和八年十月九日江戸出生

寛政十年年八月廿九日家督入書
森川織部五配

右之通 沖座儀

高百五拾俵 本國越中生國成藏 屋浦助次重前様申上地

寛政十未年十月

池田半之助 五 未二十九歳

申上り
此同剛成

此同
此同剛成

系譜

い

此同剛

池田新河原

江和源姓
池田氏

三河守賴宣文和二年九月於當河守力死
其賴宣子重頼賴周文和年中以常陸國
江和源氏知行知事云々

指物紋

丸の内印

着帯紋

口々

袴紋

口々
之世林堂

賴宣素

長人
新印

賴周

此等之平子河内守之印也
其印之形如左
其印之形如左
其印之形如左
其印之形如左

賴本

右同新

印之形如左
其印之形如左

頼春

ヨリタカ 知名新三郎 公七九

右同以

自序

知名新三郎 後家

知名新三郎

知名新三郎

台湾院林門代官水云云

許信州何可也云云

知名新三郎云云

知名新三郎云云

良考

知名新三郎 後家

知名新三郎

知名新三郎

善 泉

善 泉

知名新三郎云云

三
本
子
三
十
九
日

印
名
阿
子

母 根来新より根来中へ送るる事
妻 此醫問作昌井言卜名之

少生し年希何方と由生紅色あり
有徳屋様 所代享保十八年十月其方以家智等道
より五石の向山老申の列を御申せ給ひ
此清中幸なれ御後御事より
上りし上りし御事
老申の列を御事より
去年より御事より
是石 根来新より根来中へ送るる事

茂存 早世 根来新より根来中へ送るる事

女子 早世

女 山田信之郎正尚妻

四代目
内同明
孝政 喜名貞子
美石久吉
御事より

母 醫問 昌井言卜名之
妻 柳田房十郎正尚妻

信信屋様 御代享保元四年三月其方以家智等道
より五石の向山老申の列を御申せ給ひ
此清中幸なれ御後御事より
上りし上りし御事
老申の列を御事より
去年より御事より
是石 根来新より根来中へ送るる事
清明院御代昌井言卜名之

許身多苦... 孝堂... 孝房... 孝子... 孝女...
 許身多苦... 孝堂... 孝房... 孝子... 孝女...
 許身多苦... 孝堂... 孝房... 孝子... 孝女...

孝堂

孝房

孝子

孝女

孝堂... 孝房... 孝子... 孝女...
 孝堂... 孝房... 孝子... 孝女...
 孝堂... 孝房... 孝子... 孝女...

孝周

孝母

孝父

孝妻

孝母... 孝父... 孝妻...
 孝母... 孝父... 孝妻...
 孝母... 孝父... 孝妻...

孝周... 孝母... 孝父... 孝妻...
 孝周... 孝母... 孝父... 孝妻...
 孝周... 孝母... 孝父... 孝妻...

孝周... 孝母... 孝父... 孝妻...
 孝周... 孝母... 孝父... 孝妻...
 孝周... 孝母... 孝父... 孝妻...

天明七年九月五日
当河内省...
...
...
...

女子 甲世

母 日向所存改女

長女 日向所存改女

次女 日向所存改女

三女 日向所存改女

定免の甲午年...

...
...
...
...

...

高直五程儀

和國常陸
生酒氏藏

...
...
...
...

寛政十一年三月

日向新河原五

系譜

い

臨新

東正行九分

定規量法字分

三石四石

坂田量法

小多法

定規量法字分

坂田量法

源氏
池田氏

本姓源氏永祿年中紀伊新宮藩主新宮藩市
左右相名來山右相賀孫市川太字後浪人
節如姓相名榮隆及太字多右相名榮比相公不
知右太字將領及權左山室右治名并地訓云云
右權左山將比田去遠京都町區所池田苗字之遠
長藏也池田卜名亦山室也子也田苗字之遠
元末備前池田之家之紋標云云山室右池田
之祖云云政多行評之常山長藏江由子御前
家之紋羽及唯人ノ絶座多山室右山室
右池田之之也物也山室之山室之山室
長比池田ノ山室之山室之山室之山室

右中傳以名乃在喜津段下相公不名至十連及
善父道房在後中長孫以醫術之保重自其
乃成其後下台也

幕之紋 抱指袍

家之紋 抱指袍
習之紋 抱指袍

雜字源中元

大學

至右如右如

權左衛

至右如右如

玄達

至右如右如

至右如右如
水竹高書一紙

山國

常憲院權所代金水五子年十五行開見坂御年

文照院權所代正德二年十二月 至右如右如

有章院權正德二年四月 至右如右如

崇所以後年八月 作身喜保子七子年九月
治右 至右如右如

建南

養母 水野高書 妹

實父 池田金碩 弟

實母 池田金達 女

有德院權所代曾祖父池田金達至多孫池田自隆以

卯年八月廿三日... 池田重頼... 伊予守... 同月廿七日... 自落... 伊予守... 同月廿七日... 伊予守... 同月廿七日...

初又... 伊予守... 同月廿七日... 伊予守... 同月廿七日...

自落 早世

天明 卯年丑三月

有禮... 池田重頼... 伊予守... 同月廿七日... 伊予守... 同月廿七日...

此即身家智願造和より通以爲高也
減高和作身高より依和より和より
川左中列和川和身身身身身身身身
少書在和石河身身身身身身身身身
十月身身身身身身身身身身身身身

右之通以爲高也

高百六拾段 和國身身身
身國身身身

寶文及上 本年九月

沈田玄隆 馬

中三四月四日

和身身身身身身身身身身身身身
身身身身身身身身身身身身身

先祖書

差行

眞信御醫圖解

沈田玄隆

藤原姓

池田氏

中園雲次
生國周防
中姓生田中
興池田改

清和天皇後胤通冠者元賴家後之男母
生田式正之女之同母姓延稱生田

家紋

折燦

替紋 九ノカタハ

幕紋

生ノ字

賴信

生田三郎

賴氏

生田兵庫

賴氏之賴宗之弟也其代名
姓名ヲ記スルニハトシテモ
生田

賴宗

生田兵部丞

信久

生田近江守

吉見成子少政の姪任元弘
元弘礼之所播成子之誘計死
建武二年二月二十日信名賢觀屋
賴宗信久之七代ノ古ノ傳
トラスルニ此等又信久之言ノ傳也
賴信後任天文壬辰ノ水滸年中
三移年ニ了元應三年未三

寛政三庚申年

四月

池田路地

池田路地

差

系譜

池田路地

入所者
池田路地

藤原姓

汝谷

先祖汝谷源氏為行正今川家位
氏貞没落後遠江國郷士

幕之紋 九之内横木此

家之紋 九之内横木此

替之紋 谷之内角字

此谷三尾後利運惣从

義親

中書省

如

第百五十九號

奉

第百五十九號

常憲院様御代

年号月日未詳知遠江國高知縣仁

天英院様 此 奉 旨 依 以 下 旨

仁丁總改相御代

天和之癸亥年二月十一日病死仁以成与知

英地五知所
法石法允通寺

義久

仁

如

第百五十九號

奉

第百五十九號

年号月日未詳知遠江國高知縣仁

文昭院様御代於後田御殿

天和之癸亥年二月日未詳知父以自仁知遠江

御代受付仁丁總改 御代

宝永元甲申年十一月

文昭院様西元上為 入前以信信

同日全申年十二月所信代也 信信

享保本度子年九月病氣亡御了 追書信入

以信代申所信代也 信信

同日全申年九月亡御了 信信

享保本度子年九月

信信

久石

義卓

家女

毒

元禄七甲戌年六月十日

文昭院様御代

宝永元己丑年十月

文英院様御代

西德元 享保十月

以信代申所信代也 信信

享保十己丑年十月

元文九己丑年十月

以信代申所信代也 信信

同日全申年十月

享保本度子年十月

以信代申所信代也 信信

同日全申年十月

天英院様御代

以信代申所信代也 信信

至心院様御代

信信

三義行 ヨシユキ 没年

如 家女

妻 美作法印洋中元 組宗子(在)英明女

明和八年卯年八月三日江戸

天明七年壬午七月

河内見之守所上州を無文賦上

安永の去る卯年三月江戸助印經分大町番町書入

江戸助印經分大町番町書入

女子 如 家女

女子 如 家女

寛政十三年五月十日

公方様 此之儀 江戸

右 江戸

三義行 後之人 扶持 中國

江戸 南之門

南之門

寛政十三年 決意 進

系譜

い
匡明

和正の太
白之階
台公

治中
三白
階
台公

孝居
地
白
之
階
之
配

地
回
雲
浪

若多姓

中前 池原氏

先祖權左衛門之り、右衛門左衛門、雲丹子、
其後、浪人、之り、其子、行男、池原、宜長、
池原、氏、也、

幕政 根、
家飲、丸、
福、口、政、

池原、氏、
良誠、
池原、長、仙、院、

春、女、
宜、文、
曾、白、

妻 續 三子 忠孝 貞女

長女 五甲 年 月 日 生 所 凡 所 誕 一 子 忠 孝
長女 八甲 年 月 日 生 所 凡 所 誕 一 子 忠 孝
長女 五甲 年 月 日 生 所 凡 所 誕 一 子 忠 孝

女 竹中 貞節 松平 貞人 之 妻 勸 妻

良女 母 七 月

女 八 月 神田 三 善 將 之 妻

紀卿 母 七 月 沈原 三 善 之 妻

女 母 七 月

女 母 七 月 潜川 知 名 之 妻

天明 五 年 年 月 日 生 所 凡 所 誕 一 子 忠 孝
同 年 十 月 生 所 凡 所 誕 一 子 忠 孝
同 年 十 月 生 所 凡 所 誕 一 子 忠 孝
天明 七 年 年 月 日 生 所 凡 所 誕 一 子 忠 孝
同 年 十 月 生 所 凡 所 誕 一 子 忠 孝

女 母 七 月

女 母 七 月 高千 穂 之 妻 勸 妻

女 母 七 月 山 中 貞 之 妻 勸 妻

子 伯 子 伯 子 伯 子 伯

妻 母 七 月 山 中 貞 之 妻
定 一 年 年 月 日 生 所 凡 所 誕 一 子 忠 孝

中山中女

天明三年正月其母生
其母于天明三年正月其母生
其母于天明三年正月其母生

女

養女

大竹君 御田之右衛門内侍

養女

大 以地多吉元良明女

本通

高直

天明三年十月

中環

池原

為

